

第2期庄原市行政経営改革大綱の
策定に向けた市民アンケート集計結果
(公表用)



平成25年7月

庄原市 企画課

アンケート調査の概要

1. 調査目的

第2期庄原市行政経営改革大綱の策定にあたり、行政経営改革に対する市民ニーズと行政施策への満足度を的確に把握し、大綱策定の参考にすることを目的とし実施した。

2. 調査対象

庄原市内に住所を有する18歳以上の市民から3,000人を抽出した。

(抽出条件)

住民基本台帳の登載者を無作為に抽出

男女別、地域(旧市町)の抽出人数は、各年代の総人口における比率により算定

個人を抽出するが、世帯が重複しないよう抽出を行う。

3. 調査の方法

郵送によるアンケート票の配布及び回収を行った。

4. 調査の期間

平成25年7月1日から平成25年7月17日まで

5. アンケート集計の見かた

- ・ 選択割合とは、無記入を含む回答した人のうち何人がその選択肢を選択したかの割合を示します。
- ・ 回収率とは、その対象(年齢・地域など)に配布した票数のうち何票、返信があったかを示します。
- ・ 選択結果の割合は、小数点第2位を四捨五入しています。このため、単数選択(複数の選択肢からひとつだけを選ぶ形式)の合計値がちょうど「100.0」にならない場合があります。
- ・ 複数選択設問(複数の選択肢から複数個を選らべる形式)の割合は、回答総数に対する割合となっています。(無記入を含む回答した人のうち何人がその選択肢を選択したかの割合)
- ・ 「無回答」とあるのは、回答すべき設問に「回答が示されていなかったもの(複数選択の場合は、1つも回答が示されなかったもの)」、「判別が著しく困難なもの」となっています。
- ・ グラフの縦軸の単位は、問1から問4は、選択票数、問5以降は、選択割合となっています。
- ・ 自由記述欄の【 】は、類似意見の回答数を示します。

6. アンケートの回収状況

配布票数	回収票数	回収率	未配達票数
3,000	1,480	49.3%	15

配布票数には、未配達票数を含む。

7. 集計日

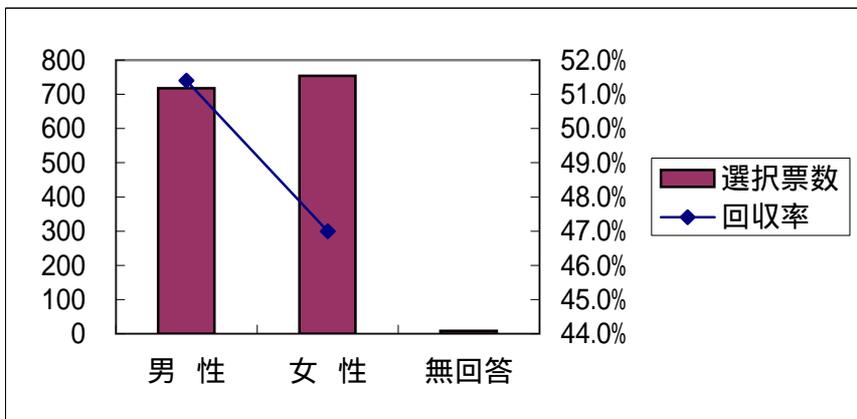
本内容は、平成25年7月31日現在までに企画課に到着したアンケート結果を集計したものです。

1. あなた（回答者）ご自身について

問1 性別は？ 《1つだけに》

1. 男性 2. 女性

	男性	女性	無回答	合計
選択票数	718	754	8	1,480
選択割合	48.5%	50.9%	0.5%	100.0%
配布票数	1,397	1,603		3,000
回収率	51.4%	47.0%		49.3% (平均)



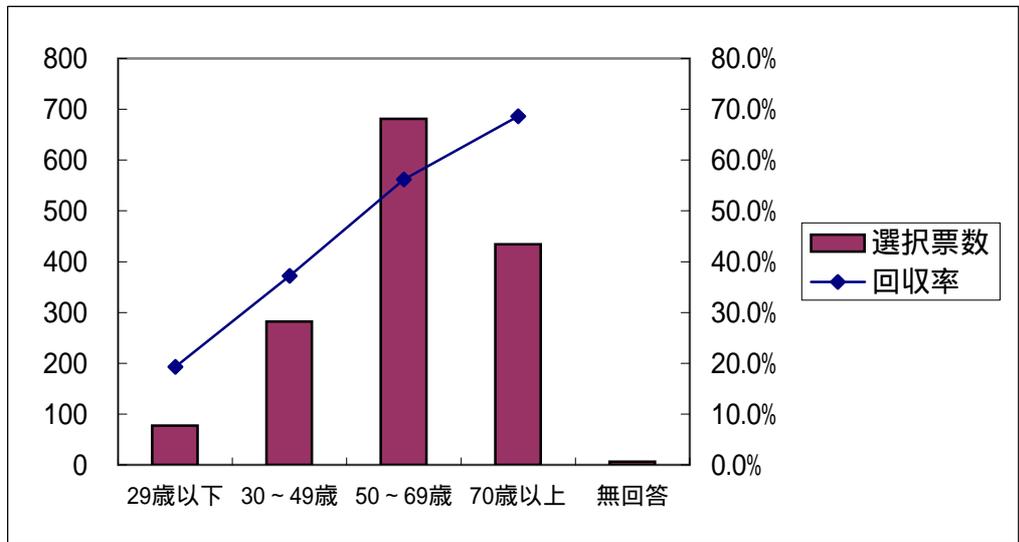
- 回答分析 -

回収票数は、女性が少し多いですが、回収率で見ると、女性の回答率が「やや低い」状況にあります。

問2 年齢は？ 《1つだけに》

1. 29歳以下 2. 30～49歳 3. 50～69歳 4. 70歳以上

	29歳以下	30～49歳	50～69歳	70歳以上	無回答	合計
選択票数	77	282	681	434	6	1,480
選択割合	5.2%	19.1%	46.0%	29.3%	0.4%	100.0%
配布票数	398	758	1,211	633		3,000
回収率	19.3%	37.2%	56.2%	68.6%		49.3% (平均)



- 回答分析 -

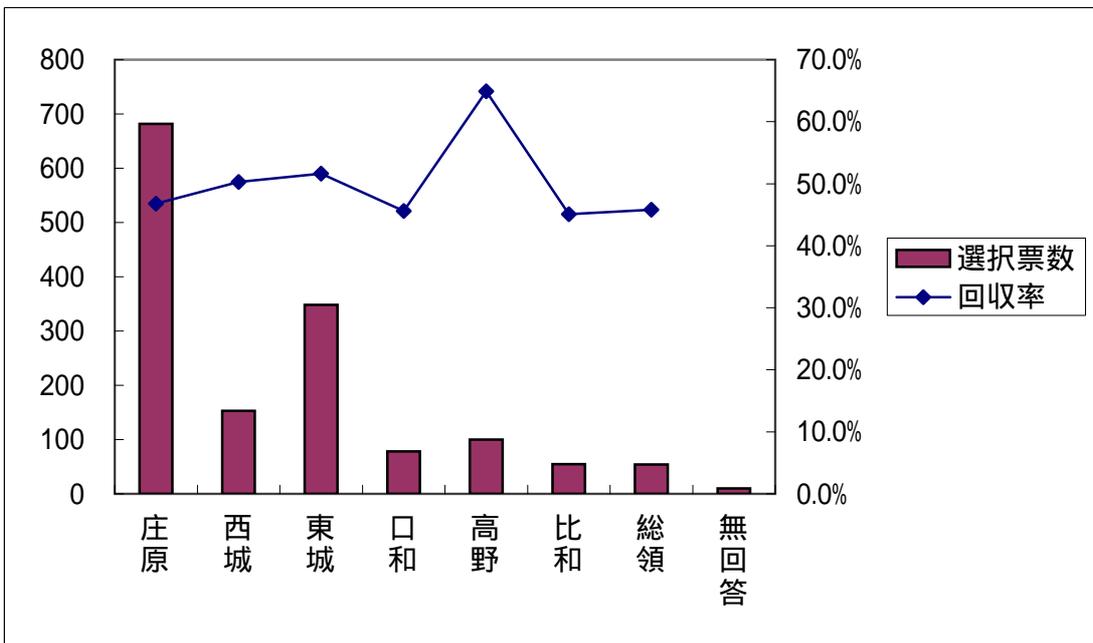
回収率は、高齢になるほど高い回収率となっています。
特に20代以下の回収率が、かなり低い結果となりました。

問3 お住まいの地域は？ 《1つだけに》

1. 庄原地域 2. 西城地域 3. 東城地域 4. 口和地域
 5. 高野地域 6. 比和地域 7. 総領地域

	庄原地域	西城地域	東城地域	口和地域	高野地域	比和地域	総領地域
選択票数	682	153	348	78	100	55	54
選択割合	46.1%	10.3%	23.5%	5.3%	6.8%	3.7%	3.6%
配布票数	1,457	304	674	171	154	122	118
回収率	46.8%	50.3%	51.6%	45.6%	64.9%	45.1%	45.8%

	無回答	合計
選択票数	10	1,480
選択割合	0.7%	100.0%
配布票数		3,000
回収率		49.3%



- 回答分析 -

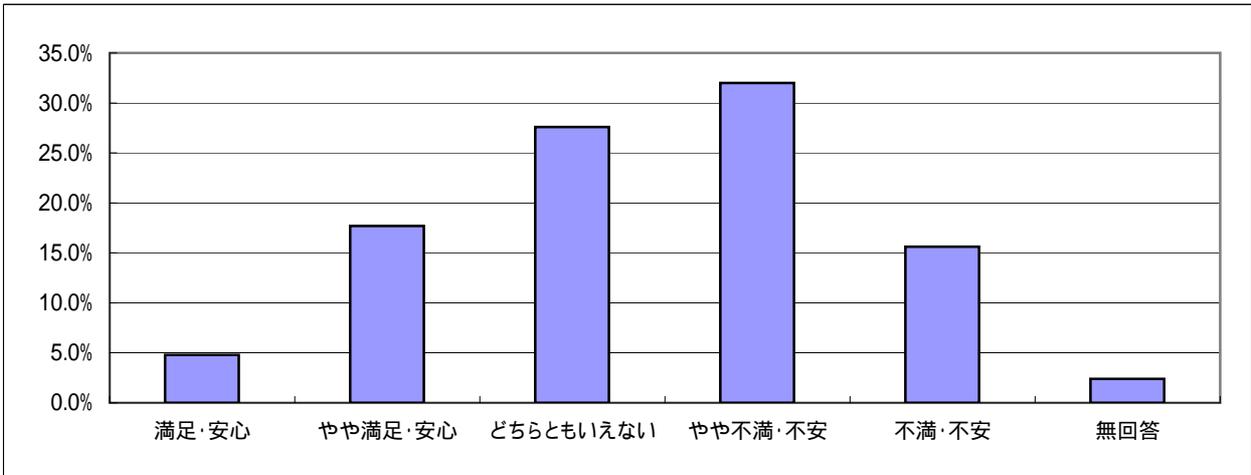
回収率は、高野地域の回収率が特に高く60%代、次いで西城・東城地域がほぼ50%となっており、その他の地域は、45%前後となっています。

2. 生活・施策の満足度について

問4 あなたは、今の生活を、どう感じていますか？《1つだけに○》

1. 満足・安心を感じている 2. やや満足・安心を感じている 3. どちらともいえない
 4. やや不満・不安を感じている 5. 不満・不安を感じている

	満足・安心	やや満足・安心	どちらともいえない	やや不満・不安	不満・不安	無回答	合計
選択票数	71	262	408	473	231	35	1,480
選択割合	4.8%	17.7%	27.6%	32.0%	15.6%	2.4%	100.0%
選択割合(2)		22.5%	27.6%		47.6%	2.4%	100.0%



- 回答分析 -
 「不満・不安」と「やや不満・不安」で半数弱を占めています。

問5 「市の施策や現状」について、次の項目の『満足度』を右の1～5の中から選びを付けてください。 〈それぞれの項目に1つだけ○〉	満足度				
	たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満
1. 自治振興区の活動体制や活動状況	5	4	3	2	1
2. 農林業生産基盤の整備	5	4	3	2	1
3. 就業先の確保(地元企業の育成や企業誘致など)	5	4	3	2	1
4. 観光振興(自然環境や歴史、文化などの活用)	5	4	3	2	1
5. ゴミ対策やリサイクルの推進	5	4	3	2	1
6. 地域生活交通の運行(バスや市民タクシーなど)	5	4	3	2	1
7. 子育て支援サービス(保育所の整備・運営など)	5	4	3	2	1
8. 高齢者の在宅介護サービス	5	4	3	2	1
9. 障害者の就労支援や外出支援	5	4	3	2	1
10. 保健サービス(母子保健や健康づくりなど)	5	4	3	2	1
11. 医療体制の確保(医療機関の整備、休日診療など)	5	4	3	2	1
12. スポーツ施設の整備	5	4	3	2	1

1. 自治振興区の活動体制や活動状況

	たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	無回答	合計
選択票数	19	377	817	174	44	49	1,480
選択割合	1.3%	25.5%	55.2%	11.8%	3.0%	3.3%	100.0%
H17調査選択割合	1.7%	14.8%	58.4%	13.4%	4.5%	7.1%	100.0%
増減率	0.4%	10.6%	3.2%	1.6%	1.6%	3.8%	0.0%

2. 農林業生産基盤の整備

	たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	無回答	合計
選択票数	6	110	814	395	78	77	1,480
選択割合	0.4%	7.4%	55.0%	26.7%	5.3%	5.2%	100.0%
H17調査選択割合	0.6%	6.2%	47.8%	26.7%	5.8%	12.8%	100.0%
増減率	0.2%	1.2%	7.2%	0.0%	0.5%	7.6%	0.0%

3. 就業先の確保(地元企業の育成や企業誘致など)

	たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	無回答	合計
選択票数	5	30	450	684	254	57	1,480
選択割合	0.3%	2.0%	30.4%	46.2%	17.2%	3.9%	100.0%
H17調査選択割合	0.1%	1.3%	30.6%	40.3%	14.9%	12.7%	100.0%
増減率	0.2%	0.7%	0.2%	5.9%	2.3%	8.9%	0.0%

4. 観光振興(自然環境や歴史、文化などの活用)

	たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	無回答	合計
選択票数	17	205	796	344	67	51	1,480
選択割合	1.1%	13.9%	53.8%	23.2%	4.5%	3.4%	100.0%
H17調査選択割合	0.9%	11.5%	49.3%	21.7%	3.9%	12.8%	100.0%
増減率	0.3%	2.3%	4.5%	1.6%	0.7%	9.3%	0.0%

5. ゴミ対策やリサイクルの推進

	たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	無回答	合計
選択票数	46	547	590	200	47	50	1,480
選択割合	3.1%	37.0%	39.9%	13.5%	3.2%	3.4%	100.0%
H17調査選択割合	1.2%	15.7%	33.8%	30.0%	10.9%	8.4%	100.0%
増減率	1.9%	21.3%	6.1%	16.5%	7.8%	5.0%	0.0%

6. 地域生活交通の運行(バスや市民タクシーなど)

	たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	無回答	合計
選択票数	35	403	637	289	72	44	1,480
選択割合	2.4%	27.2%	43.0%	19.5%	4.9%	3.0%	100.0%
H17調査選択割合	1.6%	17.3%	37.8%	26.3%	8.3%	8.8%	100.0%
増減率	0.8%	10.0%	5.3%	6.7%	3.5%	5.8%	0.0%

7. 子育て支援サービス(保育所の整備・運営など)

	たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	無回答	合計
選択票数	30	355	787	194	53	61	1,480
選択割合	2.0%	24.0%	53.2%	13.1%	3.6%	4.1%	100.0%
H17調査選択割合	0.9%	13.4%	51.6%	17.9%	5.0%	11.2%	100.0%
増減率	1.2%	10.6%	1.6%	4.8%	1.4%	7.1%	0.0%

8. 高齢者の在宅介護サービス

	たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	無回答	合計
選択票数	22	304	860	202	44	48	1,480
選択割合	1.5%	20.5%	58.1%	13.6%	3.0%	3.2%	100.0%
H17調査選択割合	1.1%	18.5%	54.1%	13.5%	2.1%	10.7%	100.0%
増減率	0.4%	2.0%	4.0%	0.2%	0.9%	7.4%	0.0%

9. 障害者の就労支援や外出支援

	たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	無回答	合計
選択票数	17	146	1,003	206	45	63	1,480
選択割合	1.1%	9.9%	67.8%	13.9%	3.0%	4.3%	100.0%
H17調査選択割合	0.5%	6.8%	58.1%	19.2%	3.9%	11.5%	100.0%
増減率	0.7%	3.1%	9.7%	5.3%	0.9%	7.3%	0.0%

10. 保健サービス(母子保健や健康づくりなど)

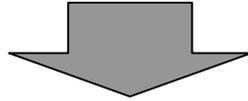
	たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	無回答	合計
選択票数	22	304	927	139	21	67	1,480
選択割合	1.5%	20.5%	62.6%	9.4%	1.4%	4.5%	100.0%
H17調査選択割合	0.6%	14.3%	54.0%	18.1%	2.8%	10.1%	100.0%
増減率	0.8%	6.2%	8.7%	8.7%	1.4%	5.6%	0.0%

11. 医療体制の確保(医療機関の整備、休日診療など)

	たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	無回答	合計
選択票数	37	380	550	370	105	38	1,480
選択割合	2.5%	25.7%	37.2%	25.0%	7.1%	2.6%	100.0%
H17調査選択割合	1.0%	11.4%	30.0%	36.1%	13.1%	8.3%	100.0%
増減率	1.5%	14.2%	7.1%	11.1%	6.0%	5.8%	0.0%

12. スポーツ施設の整備

	たいへん満足	満足	どちらともいえない	不満	たいへん不満	無回答	合計
選択票数	34	354	743	243	55	51	1,480
選択割合	2.3%	23.9%	50.2%	16.4%	3.7%	3.4%	100.0%
H17調査選択割合	1.3%	22.9%	44.4%	14.8%	3.2%	13.3%	100.0%
増減率	1.0%	1.0%	5.8%	1.6%	0.5%	9.9%	0.0%



問5 満足度の集計結果

項目	H17満足度 (A)	今回満足度 (B)	(B)-(A)	H27目標満足度 (C)	(B)-(C)
1.自治振興区	16.6%	26.8%	+ 10.2%	40.0%	13.2%
2.農林業	6.9%	7.8%	+ 0.9%	30.0%	22.2%
3.就業先	1.5%	2.4%	+ 0.9%	30.0%	27.6%
4.観光振興	12.4%	15.0%	+ 2.6%	30.0%	15.0%
5.ゴミ対策	16.9%	40.1%	+ 23.2%	40.0%	+ 0.1%
6.生活交通	18.8%	29.6%	+ 10.8%	40.0%	10.4%
7.子育て支援	14.3%	26.0%	+ 11.7%	30.0%	4.0%
8.高齢者	19.6%	22.0%	+ 2.4%	40.0%	18.0%
9.障害者	7.3%	11.0%	+ 3.7%	30.0%	19.0%
10.保健	15.0%	22.0%	+ 7.0%	40.0%	18.0%
11.医療体制	12.5%	28.2%	+ 15.7%	30.0%	1.8%
12.スポーツ	24.3%	26.2%	+ 1.9%	50.0%	23.8%

H17満足度(A):平成17年度実施の長期総合計画策定にかかる市民アンケートにおける満足度

今回満足度(B):今回の市民アンケートにおける「たいへん満足」、「満足」の回答率

H27目標満足度(C):長期総合計画に掲げる平成27年度(計画最終年度)の目標満足度

- 回答分析 -

(総括事項)

いずれの項目でも「H27目標満足度」には、達していませんが、「今回満足度」が「H17満足度」を上回る結果となっています。

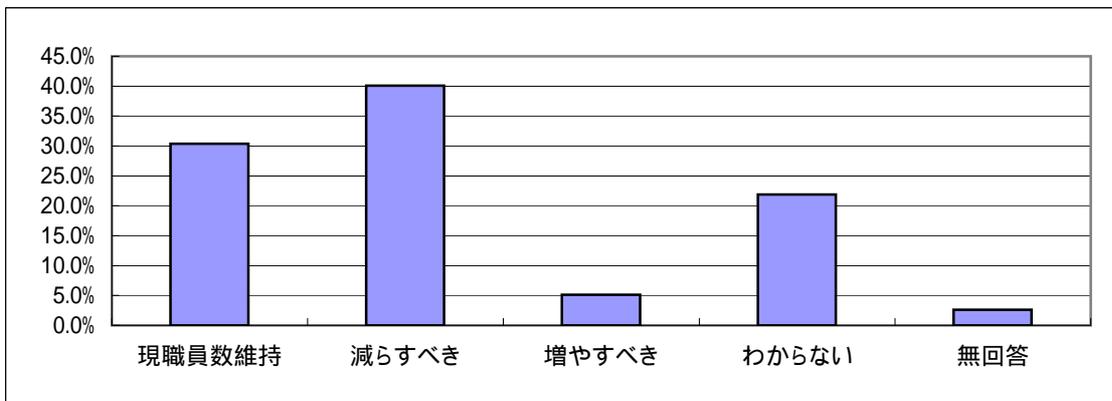
3. 行政経営改革について

問6 庄原市役所(本庁・6支所)の職員数について、どのように思われますか。(1つだけに○)

市役所の職員数は合計555人(H25.4病院技術職を除く)で、合併前から112人の削減となっています。
 なお、市民100人あたりの職員数は、庄原市1.15人、三次市0.79人、安芸高田市0.96人となっています。

- 1. 現在の職員数程度を維持すべき(問9へ)
- 2. 減らすべき(問7へ)
- 3. 増やすべき(問9へ)
- 4. わからない(問10へ)

	現職員数維持	減らすべき	増やすべき	わからない	無回答	合計
選択票数	450	593	75	324	38	1,480
選択割合	30.4%	40.1%	5.1%	21.9%	2.6%	100.1%



- 回答分析 問7、問9の分析を含む -

「減らすべき」の回答が「現在の職員数程度を維持すべき」と「増やすべき」の合計割合を超えています。

問7の「減らすべき」理由では、「財政が厳しい」との意見を6割以上の方が選択されています。
 また、その他の意見では、「民間に比較し職員が仕事をしていない」との意見が多く、職員の意識改革、効率化により人員削減が可能との意見が多く寄せられました。

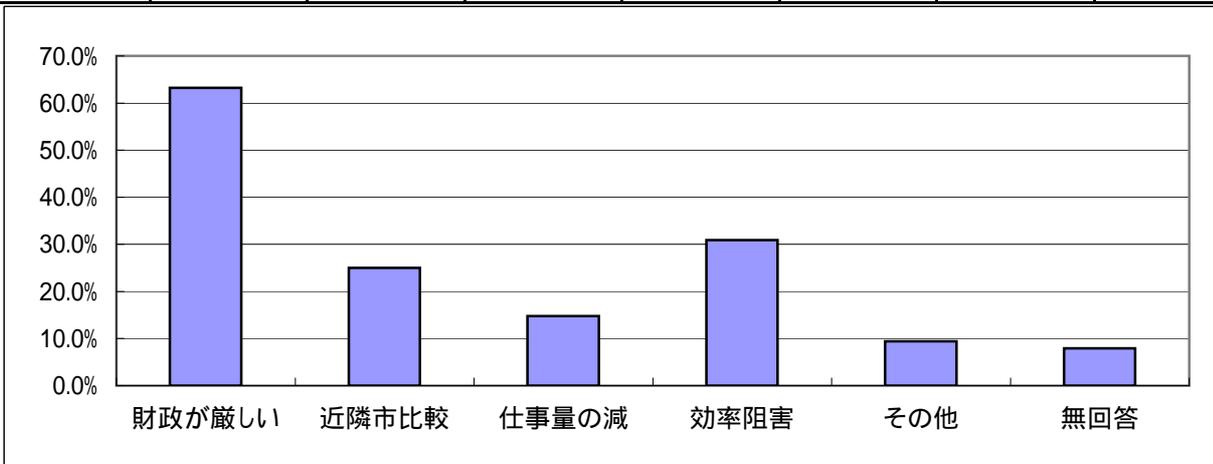
しかしながら、「職員数維持」も相当数の回答があり、問9の「現状維持又は増やすべき」理由としては、少子高齢化社会への対応、過疎地域で広大な面積であることから、「行政サービスの低下」を懸念する意見が7割を超えています。

その他の意見では、職員の専門性(スキルアップ)を図ることや部署間での人員調整を行い今後の行政課題に対応できる体制を整えるべきと意見がありました。

**問7 問6で「2. 職員数を減らすべき」と回答された方にお伺いします。
 どうして「減らすべき」と思われたのですか？《おもなもの2つ以内に○》**

1. 市の財政が厳しく、職員人件費を削減する必要があると思うから
2. 近隣の市に比べて、職員数の割合が高いと思うから
3. 昔に比べて、市役所の仕事が減っているように思うから
4. 職員が多いため、効率的な業務が行われていないと思うから
5. その他()

	財政が厳しい	近隣市比較	仕事量の減	効率阻害	その他	無回答	合計
選択票数	375	148	88	183	56	47	897
選択割合	63.2%	25.0%	14.8%	30.9%	9.4%	7.9%	151.2%



【問7 職員数を減らすべきと思う理由のその他の回答】

- ・民間と比較して職員が仕事をしていない。 [30]
- ・職員の能力や意識が低い。 [7]
- ・パソコンなどの事務機器により効率化が可能 [3]
- ・庄原市の人口が減っているため。 [3]
- ・役職級の人件費、人数の削減が必要 [2]
- ・支所の職員が多い。 [2]
- ・市職員は、給料等の待遇が優遇されている。 [2]
- ・臨時職員で対応できることが多い。
- ・市町村合併の目的の一つは、行政のスリム化である。
- ・民間でも出来ることは民間に委託
- ・臨時職員を多数採用しており、削減になっていない。
- ・その他 [4]

**問8 問6で「2. 職員数を減らすべき」回答された方にお伺いします。
 どの職員を減らすべきだと思いますか？《1つだけに○》**

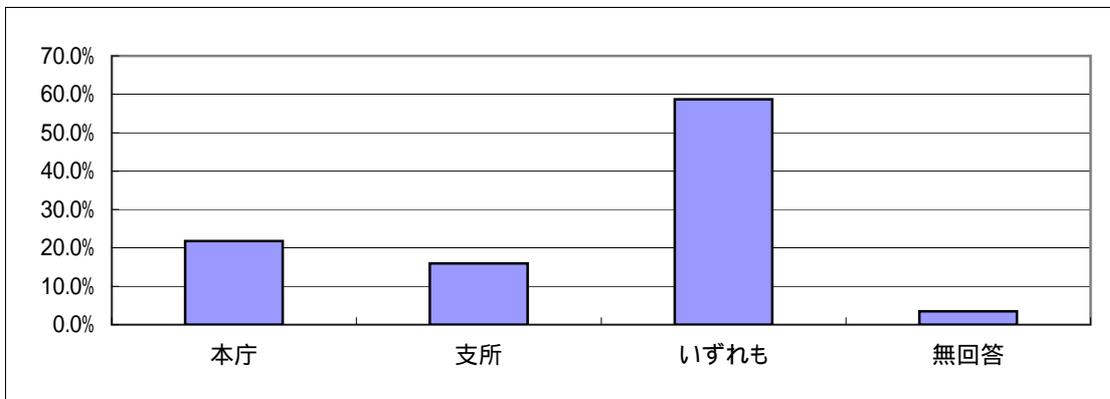
1. 本庁の職員 2. 支所の職員 3. 本庁・支所の職員いずれも

市役所職員のうち、本庁に勤務する職員の割合は、現在、庄原市66.2% 三次市80.7% 安芸高田市86.9%となっており、他市に比べて支所職員の割合が高くなっています。

	本庁	支所	いずれも	無回答	合計
選択票数	129	95	348	21	593
選択割合	21.8%	16.0%	58.7%	3.5%	100.0%

- 地域別選択数 -

	本庁	支所	いずれも	無回答	合計
庄原地域	72	42	168	9	291
西城地域	15	1	38	1	55
東城地域	20	27	83	8	138
口和地域	4	5	18	2	29
高野地域	9	8	20	0	37
比和地域	6	8	4	0	18
総領地域	3	4	16	1	24
地域無回答	0	0	1	0	1



- 回答分析 -

「本庁・支所の職員いずれも」減らすべきとの回答が6割を超え、本庁・支所は、ほぼ同割合となりました。

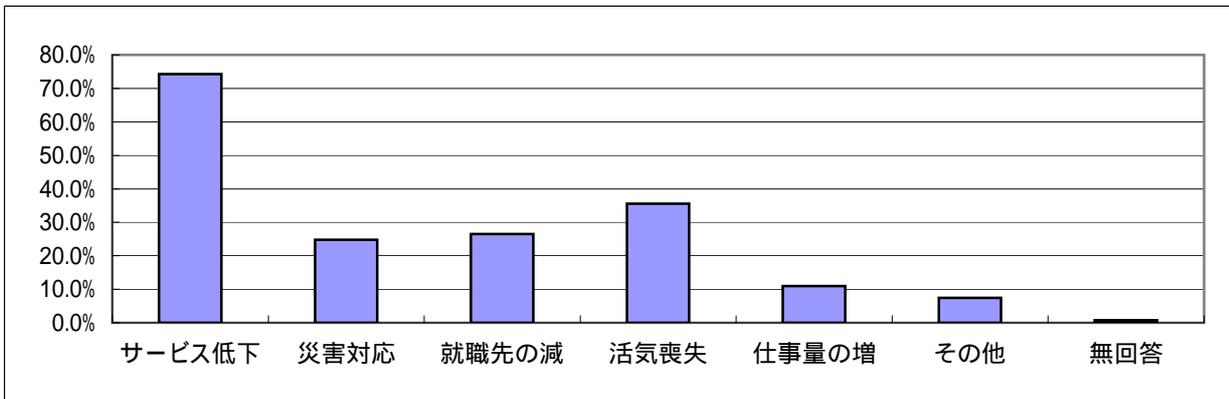
地域別にみると、西城・高野地域以外は、「庄原地域の住民は本庁」を「支所管内の住民は、支所を減らすべき」との回答が多くなっています。

問9 問6で「1.現状維持」又は「3.増やすべき」と回答された方にお伺いします。
 どうして「減らすことは適当でない」と思われたのですか？(おもなものを2つ以内に○)

- 1. 行政サービスの低下につながるから
- 2. 災害時の対応に不安があるから
- 3. 若者の就職先が減ることになるから
- 4. 地域の活気が失われるから
- 5. 今後、市役所の仕事が増えることが見込まれるから
- 6. その他()

	サービス低下	災害対応	就職先の減	活気喪失	仕事量の増	その他
選択票数	390	130	139	187	58	39
選択割合	74.3%	24.8%	26.5%	35.6%	11.0%	7.4%

	無回答	合計
選択票数	4	947
選択割合	0.8%	180.4%



【問9 職員数を現状維持又は増やすべきと思う理由のその他の回答】

- ・面積が広いため [6]
- ・行政サービスの低下を招かないよう [5]
- ・職員の人材育成。能力アップ [4]
- ・配置換えで足りない部分を補うべき。 [4]
- ・給料を下げて対応 [4]
- ・支所の充実 [3]
- ・本来、市が行うべきことを民間等に委託している。 [3]
- ・職員の負担が多そう [2]
- ・土日も開庁してほしい。
- ・市民との対話ができる行政となるよう
- ・その他 [9]

問10 市が、将来に向かって健全な財政運営(収入の確保や支出の抑制など)を維持するために必要と思われる取り組みに を付けてください。(おもなもの3つ以内に)

- 1. 受益者負担(税金や水道料金、下水道料金など)の見直し
- 2. 税金などの収納率の向上・滞納の防止

H23決算で約6.8億円の未収金があります。

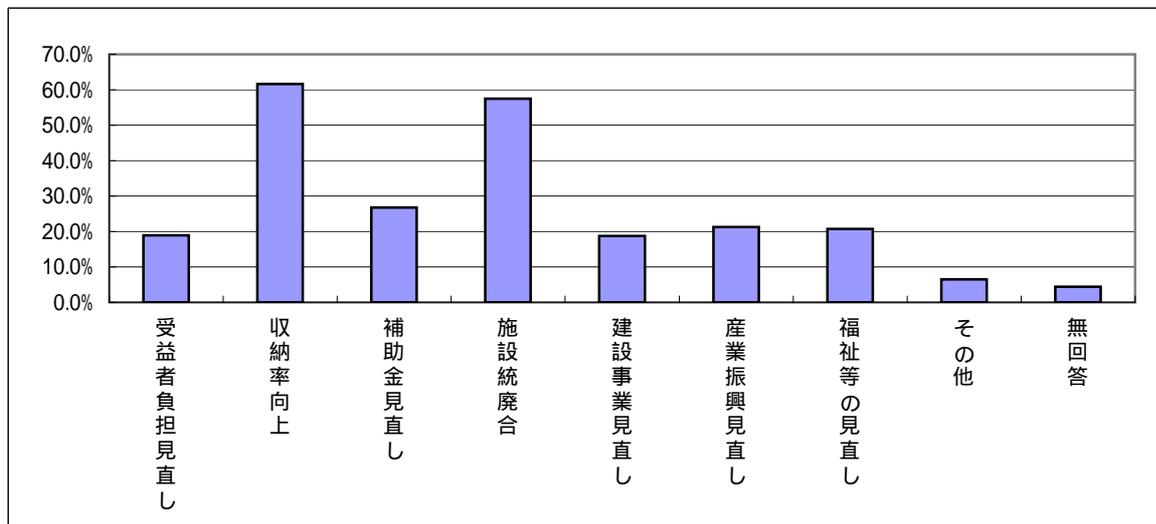
- 3. 補助金の見直し

庄原市は、市民一人あたりの単独補助金額が県内市の中で一番高くなっています。
 (市が独自に交付する補助金総額を人口で割った額 1人あたり29,581円)
 平成23年度の庄原市の一般会計補助金総額は、約34.3億円です。

- 4. 利用が少ない公共施設の統合や廃止
- 5. 道路や施設などの建設事業の見直し
- 6. 農林業や商工業、観光など、産業振興事業の見直し
- 7. 福祉や介護、医療などの支援事業の見直し
- 8. その他1 ()
- 9. その他2 ()

	受益者負担	収納率向上	補助金	施設統廃合	建設事業	産業振興
選択票数	280	912	396	851	277	315
選択割合	18.9%	61.6%	26.8%	57.5%	18.7%	21.3%

	福祉等	その他	無回答	合計
選択票数	307	96	65	3,499
選択割合	20.7%	6.5%	4.4%	236.4%



- 回答分析 -

「収納率の向上・滞納防止」と「利用が少ない施設の統廃合」をすべきとの回答が約6割と他の選択肢の倍程度の割合となりました。

その他の項目については、補助金の見直しが多少多いものの20%前後の選択割合となっており、ほぼ横並びとなっています。

その他の回答としては、「定住・雇用・少子化対策の充実」による税収の確保や「職員人件費の見直し」、「過剰・不要な福祉施策(給付事業)の見直し」などが多数意見となりました。

【問10 健全な財政運営に必要と思う取り組みのその他の回答】

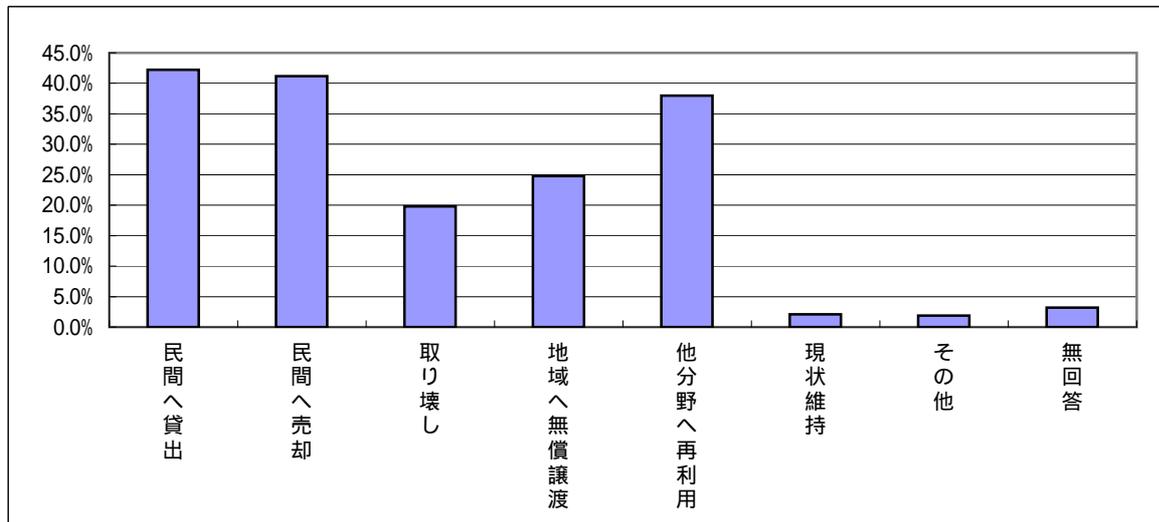
- ・定住促進・雇用対策・少子化対策による将来の収入アップ [18]
- ・職員(議員等)人件費の見直し [11]
- ・市役所の内部経費の削減 [7]
- ・公共施設の廃止など [6]
- ・過剰・不要な福祉施策(給付事業)の見直し [6]
- ・補助金の適正交付 [5]
- ・指定管理料の見直し [4]
- ・公共施設の利用料金の見直し [3]
- ・産業の振興 [3]
- ・福祉事業の見直し [2]
- ・職員の意識改革・スキルアップ [2]
- ・財政の健全化 [2]
- ・超高速通信網(光ファイバー)整備
- ・教育の強化
- ・税などの滞納金の解消
- ・自治振興区の活動の見直し
- ・その他 [20]

問11 庄原市には、利用されていない施設(旧公共施設)や利用が少ない公共施設があります。今後、どのように管理・活用すればよいと思いますか。(おもなもの2つ以内に)

- 1. 民間事業所等への貸し出し
- 2. 民間事業所等への売却
- 3. 取り壊し
- 4. 地域への無償譲渡
- 5. 他の分野の公共施設として再利用
- 6. 現状のまま維持すべき
- 7. その他()

	民間へ貸出	民間へ売却	取り壊し	地域へ無償譲渡	他分野へ再利用	現状維持
選択票数	624	610	293	367	563	31
選択割合	42.2%	41.2%	19.8%	24.8%	38.0%	2.1%

	その他	無回答	合計
選択票数	28	47	2,563
選択割合	1.9%	3.2%	173.2%



- 回答分析 -

「民間への貸し出し」と「民間への売却」、「他の分野への再利用」が40%の回答率となり、それぞれ分散する回答結果となりました。

その他の意見についても「高齢者福祉施設への転用」や「地域実情に応じて判断」、「管理費を最小に」など、意見が分散しています。

【問11 利用されていない施設等の管理・活用方策のその他の回答】

- ・地域実情に応じて対応を検討 [5]
- ・個別の実状がわからないのでなんともいえない [4]
- ・利用促進を図る。 [4]
- ・積極的な統廃合を行うべき [3]
- ・他の用途に転用 [2]
- ・管理費の削減 [2]
- ・老人ホームなど高齢者施設に利用 [2]
- ・サテライトオフィスなど、都市部への貸し出し
- ・積極的な貸し出し
- ・その他 [6]

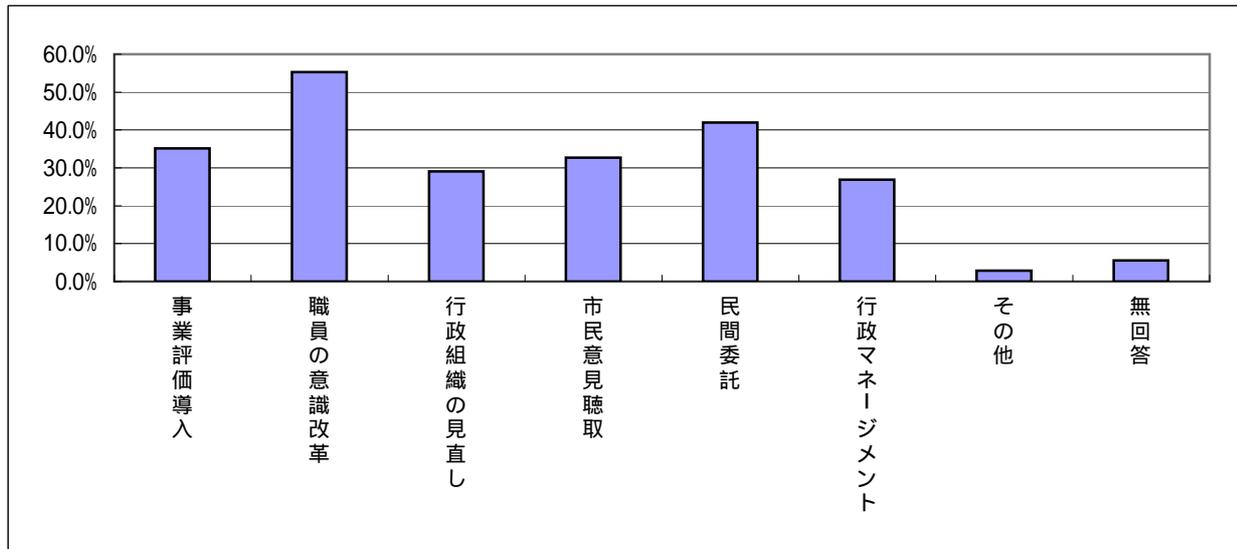
問12 市が市民の期待に応え、効果的・効率的な行政運営を行うために必要と思われる取り組みに を付けてください。《おもなもの3つ以内に 》

- 1. 事業評価制度の導入
- 2. 職員の意識改革・能力の向上
- 3. 行政組織の見直し(課や係の統合・廃止)
- 4. 市民からの意見聴取機会の拡大
- 5. 市役所の業務のうち民間でできるものは民間へ委託
- 6. 行政マネージメントの推進
- 7. その他()

1 事業評価とは、実施した事業について「効果」や「成果」の視点をもって評価・検証を行い、その結果を次の事業に生かしていく取り組みで「事業仕分け」のようなものです。
 2 行政マネージメントとは、人材・資産・リスクなどを管理し、「計画 実行 評価(点検) 改善”のサイクルにより、行政運営上の効果を総合的に最適化する手法のことです。

	事業評価導入	職員の意識改革	行政組織	市民意見聴取	民間委託	行政マネージメント
選択票数	520	818	431	484	622	398
選択割合	35.1%	55.3%	29.1%	32.7%	42.0%	26.9%

	その他	無回答	合計
選択票数	43	83	3,399
選択割合	2.9%	5.6%	229.6%



- 回答分析 -

「職員の意識改革・能力の向上」を過半数の方が選択されています。
 次いで、「民間でできるものは、民間へ委託」との項目も4割を超えています

【問12 効果的・効率的な行政運営に必要な方策のその他の回答】

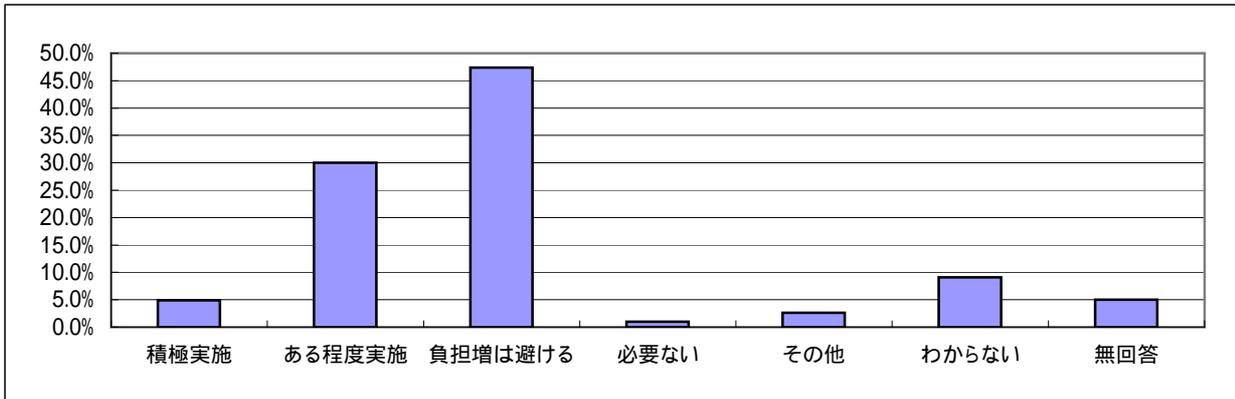
- ・職員の意識改革・人材育成 [13]
- ・支所機能の充実 [5]
- ・賑わい創出・定住促進 [3]
- ・財政の健全化・費用対効果の徹底 [2]
- ・市民との協働 [2]
- ・情報インフラの整備
- ・第三者による事業評価の実施
- ・情報配信(空き家情報、求人情報)等
- ・その他 [14]

問13 行政経営改革を進めることについて、どのように思いますか。《1つだけに○》

- 1. 事業の縮小や終了、市民の負担増となっても積極的に進めるべき
- 2. 一時的には市民の負担増となっても、将来を考えれば必要であり、ある程度進めるべき
- 3. 事務改善は必要だが、事業の見直しや市民の負担増は避けるべき
- 4. 行政経営改革は必要ない
- 5. その他 ()
- 6. わからない

	積極実施	ある程度実施	負担増は避ける	必要ない	その他	わからない
選択票数	72	444	702	15	38	135
選択割合	4.9%	30.0%	47.4%	1.0%	2.6%	9.1%

	無回答	合計
選択票数	74	1,480
選択割合	5.0%	100.0%



- 回答分析 -

「事務改善は必要だが、事業の見直しや市民の負担増は避けるべき」との意見が約半数となっています。しかしながら、「一時的に負担増となってもある程度進めるべき」との意見も3割程度ありました。

【問13 行政経営改革を進めることについてのその他の回答】

- ・行政経営改革が必要であるが、市民の負担増とならないように [6]
- ・事業の縮小や終了は進めるべきだが、市民に丁寧な説明を [3]
- ・将来を見据えた改革とし、安易な改革は行わないこと。 [3]
- ・人口の減少に見合う、事業規模に縮小や終了をするべき。 [2]
- ・市役所の内部改革こそが第一の行政改革など [2]
- ・口先だけの改革ならしない方が良い
- ・負担増はいやだけど、財政健全化は必要
- ・職員給料を下げると意欲が失われるので、ほどほどに
- ・市民による事業仕分け
- ・捨身で改革していただきたい。
- ・市民負担の公平性を考慮すべき
- ・相手が物ではない「命ある人」であることを忘れずに
- ・地方分権化の推進
- ・市民・行政・議会一体で
- ・その他 [12]

問14 市がこれまで以上に取り組む必要があるは、どれだと思いますか。
 《おもなものを3つ以内に》

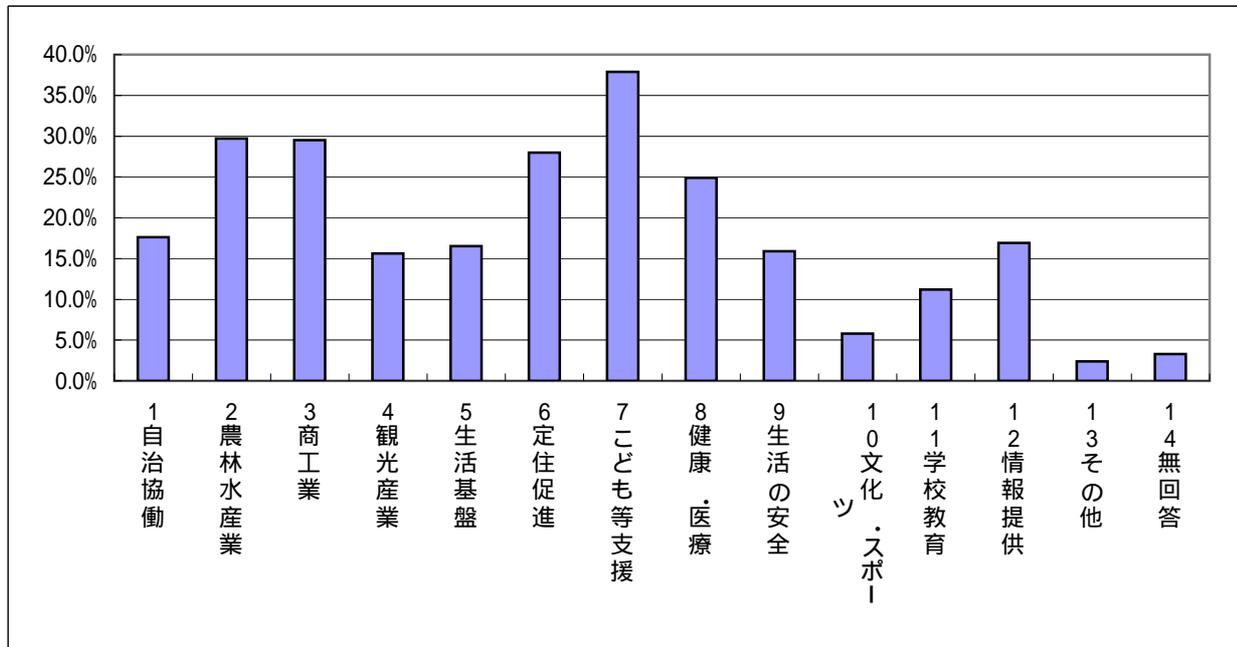
11.は「具体的に考えられる方策がある場合は、【 】内にご記入ください。

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 自治・協働のまちづくり | 2. 農林水産業の振興 |
| 3. 商工業の活性化 | 4. 観光産業の推進 |
| 5. 生活基盤の整備（道路・下水道など） | 6. 定住促進 |
| 7. こども、高齢者、障害者などの支援 | 8. 健康づくり・医療の充実 |
| 9. 生活の安全確保（防災・防犯） | 10. 文化・スポーツの振興 |
| 11. 学校教育の充実【具体的な方策 | 】 |
| 12. 情報提供(医療情報、働く場の情報等) | 13. その他（ |

	自治協働	農林水産業	商工業	観光産業	生活基盤	定住促進	こども等支援
選択票数	261	440	437	231	244	414	561
選択割合	17.6%	29.7%	29.5%	15.6%	16.5%	28.0%	37.9%

	健康・医療	生活の安全	文化・スポーツ	学校教育	情報提供	その他	無回答
選択票数	369	236	86	166	250	35	49
選択割合	24.9%	15.9%	5.8%	11.2%	16.9%	2.4%	3.3%

	合計
選択票数	3,779
選択割合	255.2%



- 回答分析 -

「こども・高齢者・障害者などの支援」が40%近くで、一番多い回答となりました。
 次に、「農林業振興・商工業の活性化」、「定住促進」が続き、地域活性化により働く場を創出し、若者定住に取り組むべきと意見が多く寄せられています。

【問14 学校教育の充実の具体的な方策】

- ・学力の向上 [9]
- ・ふるさと教育や自然環境を活用した教育 [8]
- ・先生が気持ちにゆとりを持てること、生徒対応時間の確保 [7]
- ・基礎学力の徹底 [4]
- ・発達障害児の支援など [4]
- ・いじめ・不登校問題への対応 [3]
- ・心の育成・道徳の重視 [3]
- ・保護者への指導(教育)が必要 [2]
- ・ゆとり教育の廃止
- ・クラブ活動の強化
- ・専門分野における専門職員の配置
- ・少人数学習
- ・児童の安全の確保
- ・食育などの生活指導
- ・英語教育・海外留学の推進
- ・教職員の公募
- ・教員の増員
- ・小中高一貫校(モデル)の設立
- ・その他 [9]

【問14 市がこれまで以上に取り組む必要がある項目のその他の回答】

- ・超高速通信網(光ファイバー)整備 [8]
- ・企業誘致 [7]
- ・少子化対策・子育て支援 [3]
- ・行政経営改革 [2]
- ・これまで以上に取り組む必要のない施策はない。 [2]
- ・人件費の削減
- ・判断できない
- ・財政の健全化
- ・将来を見据えた施策
- ・その他 [9]

問15 その他、行政経営改革に関することや今後の庄原市のまちづくりについて、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

【全般的事項】

- ・若い人に魅力あるまちづくり [3]
- ・将来の生活へ不安がある。 [3]
- ・定住・過疎化対策 [2]
- ・無駄な政策をしない。
- ・限られた財源の中、人と人のつながりは、庄原市の大きな財産ではないでしょうか。
- ・地元で頑張っている、いろいろな分野の人を応援
- ・土日、時間外に開庁してるといいと思う。
- ・新しい産業の創出
- ・責任ある行財政運営を
- ・その他 [15]

【行政改革】

- ・将来を見据えた改革を！ [3]
- ・人件費の抑制が必要 [2]
- ・行政事務の見直しと人材育成 [2]
- ・指定管理者等、市出資法人の統廃合 [2]
- ・行政経営における最大の推進力は、人材である。
- ・行政事業評価の実施
- ・改革は必要だが安易な削減はどうかと思う。
- ・無駄な政策をしない。
- ・民間企業等に比べて改善策が遅く取り組みが弱い。
- ・市民への負担増を行わないこと。
- ・本当に困っている人を助ける行政を
- ・行政に経営的感覚が必要なのでしょうか(無駄使いは別として)
- ・市民が「小さな市役所」を望むなら、行政サービスの低下は、やむを得ないと思う。
- ・行政が縮小すれば、市はますます低迷するのでは。
- ・真剣勝負の改革を！
- ・行政マンも市民もマンネリの感覚から抜け出す
- ・チェック体制の強化と責任の所在を明確に
- ・その他 [4]

【このアンケートについて】

- ・もう少しわかりやすいアンケートにしてもらいたい。 [8]
- ・アンケートで意見を言っても出来たことはありません。
- ・こういうアンケートも無駄遣いだと思う。
- ・概略的なアンケートの結果(統計)に有効的な意味があるとは思えない。
- ・その他

【まちづくりのビジョンなど】

- ・まちづくりのビジョンを示すことが大切 [6]
- ・庄原市の特色を活かしたまちづくり [3]
- ・その他 [3]

【安全・安心なまちづくり】

- ・安心して暮らせるまちづくり・生活しやすいまちづくり [6]

【議会関係】

- ・議員定数の削減 [2]
- ・議員報酬の削減
- ・その他 [2]

【総務管理関係】

- ・行政文書の簡素化 [3]
- ・その他 [7]

【選挙】

- ・選挙のポスターの掲示板の数が多すぎます。
- ・期日前投票の期間を短縮すべき

【危機管理関係】

- ・各支所の職員の削減が行われており、災害対応が不安。居住地職員が対応できないか。 [2]

【財政・補助金関係】

- ・補助金の見直し [4]
- ・財政健全化 [3]
- ・事業の見直しが必要 [2]
- ・市債の減は評価できる。
- ・お金を市内で循環させるしくみが必要

【地域振興・地域課題】

- ・支所管内の地域振興・特定地域の課題解消 [6]

【行政組織など】

- ・市役所組織機構の見直しが必要 [4]
- ・支所を充実させてほしい。
- ・支所の合併
- ・支所の職員を減らしてほしい。
- ・その他 [2]

【市職員関係】

- ・職員の意識改革・人材育成 [18]
- ・職員の待遇(給与など)が良すぎる。 [7]
- ・職員の対応が悪い [7]
- ・職員の意識が低い [6]
- ・職員がもっと外に出て「生」の意見を聞くべき [4]
- ・職員数は、まだまだ削減可能 [2]
- ・職員は、もっと地域の行事に参加すべき [2]
- ・職員数を減らすより、給料を減らすべき。
- ・緊張感ある行政の遂行を望む
- ・職員削減 サービスの低下等につながっている。
- ・臨時職員の採用基準がおかしい。
- ・行政も住民も権利と義務のバランスを考えて行動する必要がある。
- ・職員の削減
- ・その他 [18]

【税務関係】

- ・税金等の未納金対応をしっかりと実施すること。 [3]
- ・その他 [2]

【情報通信関係】

- ・超高速通信網(光ファイバー)整備 [11]
- ・テレビ難視聴地域の解消
- ・携帯電話不感地域の解消
- ・フェイスブックなどで市民から意見を聞く。

【広報関係】

- ・市民が行政に意見する場をもっとつくるべき。 [2]
- ・市の情報発信力の向上
- ・広報しようばらの見直し
- ・ホームページの充実
- ・市民の声を取り上げてもらえない。

【自治振興区・自治振興センターなど】

- ・自治振興区への投げかけが多すぎる。 [4]
- ・自治振興区への補助金の効果検証が必要 [3]
- ・自治振興区のあり方をもう少し考えてほしい。 [3]
- ・自治振興区は、不要である。 [2]
- ・自治振興区を通して、もっと住民の意見を聞くべき
- ・自治振興区に市の業務を委託していくことは反対
- ・自治振興センターの利用者から施設利用料金を徴収すべき。
- ・天下りの受け皿になっている。
- ・その他 [2]

【生活交通・生活安全など】

- ・生活交通の充実 [5]
- ・生活交通の見直し [3]
- ・その他 [4]

【環境衛生関係】

- ・環境問題への対応 [2]
- ・その他 [3]

【高齢者福祉など】

- ・高齢者が安心して暮らせるまちづくり(不安の解消) [12]
- ・過剰な福祉サービス利用により医療費負担・介護保険料が高くなっている。 [3]
- ・利用が少ない公共施設を老人福祉施設に転用 [2]
- ・高齢者サービスより若い人に魅力あるまちづくりを [2]
- ・高齢者に手厚い福祉行政を [2]
- ・その他 [3]

【障害者福祉など】

- ・福祉タクシー券の厳正な審査を [2]
- ・障害者が働きやすい場所の確保 [2]
- ・等級の低い人に対する障害者福祉の充実

【社会福祉関係】

- ・生活保護世帯、母子家庭への支援を厳正に審査すべき。 [4]
- ・福祉の町、一番になればいいですね。
- ・その他

【医療関係】

- ・産科医療対策 [11]
- ・医療の充実 [7]
- ・小児科医療の充実
- ・乳幼児医療の拡充
- ・医療機関への交通手段の確保対策

【子育て支援(医療対策関係を除く。)関係】

- ・子育て支援の充実 [12]
- ・子供遊び場の確保(児童公園など) [5]
- ・指定管理保育所あり方の見直し・労働環境の監督 [4]
- ・保育料の軽減 [2]
- ・子育て支援策の情報がわからない。周知(広報活動)の充実 [2]
- ・出産祝い金の増額 [2]
- ・保育所の充実 [2]
- ・保育所の民営化の推進
- ・未来の子供の為の施設を整えて欲しい。

【定住対策など】

- ・若い人に魅力あるまちづくり [17]
- ・定住できる住宅の確保 [4]
- ・結婚対策 [4]
- ・他市の成功事例を参考に定住対策を [2]
- ・廃校利用した、生活できる基盤・就労の確保
- ・Iターン、Uターン者の支援、助成を強化
- ・商工業の発展、観光資源の発掘等で魅力ある町づくりと一体的になった事業展開
- ・その他 [5]

【雇用対策・企業誘致など】

- ・若者の働く場の確保 [23]
- ・企業誘致 [2]
- ・企業誘致・農林業の振興
- ・農林業で生活できる事業の促進
- ・工業団地の造成
- ・キャリアアップセミナーなどの就職支援

【都市計画・市営住宅など】

- ・庄原駅前再開発事業の見直し [2]
- ・市営住宅の整備 [2]
- ・庄原駅周辺を整備すべき。
- ・市営住宅の管理体制の改善
- ・その他 [2]

【道路関係】

- ・市道草刈委託金の増額
- ・県道東城庄原線の改良
- ・歩道の整備
- ・庄原バスセンター付近の道路改良
- ・計画的な道路維持管理を
- ・市道川手柳原線の早期改良
- ・除雪の改善
- ・交通量の非常に少ない道路建設は、無駄である。
- ・その他 [3]

【上下水道関係】

- ・どこに住んでいても生活環境が同一に思える様な、上下水道整備 [2]
- ・その他 [3]

【公共施設・指定管理(個別案件を除く。)関係】

- ・利用の少ない施設の廃止 [3]
- ・遊休施設の転用 [2]
- ・公園・図書館・保育園とかを増やす。
- ・指定管理施設を丸投げにせず、十分検証すること。
- ・一部の人にのみ必要、便利な建物がある。
- ・必要最低限の施設の充実
- ・施設使用料が高い
- ・ハコモノを作りすぎ
- ・施設に入っている団体(個人)でタダで使用されている事が多い
- ・指定管理費の削減
- ・公共施設の選択と集中を
- ・その他 [2]

【観光振興・にぎわい創出】

- ・庄原市の良さをもっと効果的にアピールすべき [7]
- ・庄原の自然のなど、今ある資源の活用 [7]
- ・にぎわいの創出 [5]
- ・娯楽施設・商業施設等の誘致 [3]
- ・中心市街地の活性化 [3]
- ・まちなか広場は、整備効果に疑問がある。 [2]
- ・「道の駅たかの」を効果的に活用すべき。 [2]
- ・松江道の活用を [2]
- ・庄原よいとこ祭りも良いとはいうもののマンネリ化している。
- ・行事が庄原地域に偏っている。
- ・観光産業の促進を
- ・観光施設や行事の振興
- ・その他 [8]

【林業振興(木質バイオマス関係を含む。)関係】

- ・バイオマス事業の説明責任を果たすべき [6]
- ・山林を活かした施策の実施を [2]
- ・その他

【農業振興関係】

- ・6次産業の推進 [2]
- ・加工所の整備
- ・農業者の支援
- ・全国からオーナーを募り農業の復活を
- ・農地の保全
- ・鳥獣被害の抜本的対策を
- ・もっともっと食育に力を入れるべき。
- ・その他 [4]

【学校教育関係】

- ・魅力ある教育力の高い学校の実現 [2]
- ・高校生への通学補助の充実
- ・障害児支援の充実
- ・学校の統廃合が必要
- ・その他 [3]

【生涯学習関係】

- ・文化施設・スポーツ施設の充実 [3]
- ・公民館を開放的に使用できるようにしてほしい。
- ・その他